



## 2023年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社cotta

上場取引所 東 福

コード番号 3359 URL <https://www.cotta.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒須 綾希子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 後藤 眞二郎

TEL 0972-85-0117

四半期報告書提出予定日 2023年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	4,949	3.3	604	46.0	624	45.0	429	46.9
2022年9月期第2四半期	5,117		414		430		292	

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 428百万円 (46.6%) 2022年9月期第2四半期 292百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	40.59	40.43
2022年9月期第2四半期	27.63	27.46

(注) 1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第2四半期	6,203	3,739	60.1	352.90
2022年9月期	5,995	3,353	55.8	316.49

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 3,730百万円 2022年9月期 3,345百万円

(注) 1株当たり純資産の算出にあたり、期末自己株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		0.00		4.00	4.00
2023年9月期		0.00			
2023年9月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 配当予想の修正については、本日(2023年5月15日)公表いたしました「2023年9月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,513	3.7	780	41.4	808	38.3	544	36.0	51.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

2. 連結業績予想の修正については、本日(2023年5月15日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期2Q	11,117,313 株	2022年9月期	11,117,313 株
期末自己株式数	2023年9月期2Q	545,026 株	2022年9月期	547,726 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期2Q	10,571,360 株	2022年9月期2Q	10,575,213 株

(注)期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、この数字に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間(2022年10月1日～2023年3月31日)(以下「当四半期」という。)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化に向けた兆しが見られたものの、一方ではエネルギー価格や原材料価格の上昇による物価高が個人消費に影響を与えるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

そのような状況のなか、当四半期における当社グループの主要事業である菓子・パン資材および雑貨等の販売事業(以下「資材および雑貨等の販売事業」という。)におきましては、お客様一人当たりの客単価上昇を重視する経営戦略に切り替えており、特に客単価が高いBtoB事業へ経営資源を優先投入することによって、利益率の向上につながっております。

当社年間の最大イベントであるバレンタイン商戦においても同戦略を継続いたしまして、堅調なBtoB向け需要にも支えられ想定通りの形で商戦を終えることができております。

また、資本業務提携先の不二製油株式会社様と推進しております植物性商品の販売拡大や、3月に初開催いたしました日本最大級のお菓子とパンの祭典「コッタマルシェ」等により、新規コアユーザー層の獲得に向けた活動も行っていました。

以上の結果、売上高4,949,335千円(前年同四半期比3.3%減)、営業利益604,668千円(同46.0%増)、経常利益624,095千円(同45.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益429,102千円(同46.9%増)となりました。

当社の主力事業である「cotta」の売上は、BtoB事業とBtoC事業から成り立っており、その比率は前期末が5:5でしたが、当期末は前述の通りBtoB事業優先の経営戦略に切り替えたため、概ね6:4となる予定であります。

当期の施策は、BtoB事業に人的リソースや広告宣伝費を集中させたことにより、客単価が2倍程度高いBtoBの顧客獲得が順調に推移いたしました。それに伴い、運賃コストが当初の予想より大幅に改善いたしました。さらに現場の出荷作業も効率化が進み、残業や派遣社員等にかかる人件費も大幅に削減できたことで、第2四半期連結累計期間において過去最高益を更新することが出来ました。

なお、当社グループは、資材および雑貨等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、6,203,551千円となり、前連結会計年度末と比べ207,800千円増加しました。これは、主に、在庫商品を出荷したことにより棚卸資産が減少した一方で、営業活動によるキャッシュ・フローの獲得などにより現金及び預金が増加したことによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、2,464,541千円となり、前連結会計年度末と比べ177,994千円減少しました。これは、主に、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、3,739,009千円となり、前連結会計年度末と比べ385,794千円増加しました。これは、主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、仕入債務の減少などにより一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益624,086千円の計上などにより、前連結会計年度末に比べ207,084千円増加し、当第2四半期連結会計期間末には1,868,384千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は444,378千円(前年同四半期比34.0%増)となりました。これは、主に仕入債務の減少額197,464千円および法人税等の支払額125,320千円などによる資金の減少に対し、税金等調整前四半期純利益624,086千円に加え、棚卸資産の減少額97,207千円などによる資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は114,185千円(同19.6%増)となりました。これは、主に、保険積立金の積立による支出83,624千円および無形固定資産の取得による支出15,457千円などによる資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は121,862千円(同163.7%増)となりました。これは、主に、長期借入金の返済による支出73,422千円および配当金の支払額42,788千円などによる資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間において業績が好調に推移し、2022年11月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を超える見通しとなったことから、2023年9月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2023年5月15日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,801,308	2,008,392
受取手形及び売掛金	353,898	333,160
棚卸資産	1,837,761	1,740,553
その他	283,061	349,413
貸倒引当金	△3,960	△4,320
流動資産合計	4,272,070	4,427,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	886,761	864,465
土地	392,744	392,744
その他(純額)	203,236	192,809
有形固定資産合計	1,482,742	1,450,019
無形固定資産	62,432	59,810
投資その他の資産	178,505	266,520
固定資産合計	1,723,681	1,776,350
資産合計	5,995,751	6,203,551
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	646,772	449,308
短期借入金	740,000	740,000
1年内返済予定の長期借入金	146,844	246,844
未払法人税等	137,872	212,677
契約負債	12,885	14,676
賞与引当金	29,361	24,299
その他	327,056	353,565
流動負債合計	2,040,792	2,041,371
固定負債		
長期借入金	551,312	377,890
株式給付引当金	16,454	15,956
退職給付に係る負債	7,605	8,272
その他	26,371	21,051
固定負債合計	601,743	423,169
負債合計	2,642,536	2,464,541
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	649,472	649,472
資本剰余金	622,640	622,640
利益剰余金	2,335,214	2,721,407
自己株式	△262,148	△261,661
株主資本合計	3,345,179	3,731,859
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	—	△884
その他の包括利益累計額合計	—	△884
新株予約権	8,035	8,035
純資産合計	3,353,214	3,739,009
負債純資産合計	5,995,751	6,203,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	5,117,709	4,949,335
売上原価	3,524,844	3,245,535
売上総利益	1,592,865	1,703,800
販売費及び一般管理費	1,178,651	1,099,132
営業利益	414,213	604,668
営業外収益		
受取利息	27	31
協賛金収入	15,637	11,436
電力販売収益	4,421	4,055
その他	3,214	13,313
営業外収益合計	23,301	28,836
営業外費用		
支払利息	4,538	3,900
電力販売費用	1,453	1,361
その他	977	4,146
営業外費用合計	6,969	9,409
経常利益	430,545	624,095
特別損失		
固定資産除却損	—	9
棚卸資産廃棄損	4,315	—
特別損失合計	4,315	9
税金等調整前四半期純利益	426,230	624,086
法人税、住民税及び事業税	124,674	198,738
法人税等調整額	9,414	△3,755
法人税等合計	134,089	194,983
四半期純利益	292,140	429,102
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	292,140	429,102

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	292,140	429,102
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	△884
その他の包括利益合計	—	△884
四半期包括利益	292,140	428,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292,140	428,218
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	426,230	624,086
減価償却費	65,204	60,768
のれん償却額	23	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,184	△5,061
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,840	360
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△14,851	—
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,237	△497
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	145	666
受取利息及び受取配当金	△27	△31
支払利息	4,538	3,900
固定資産除却損	—	9
棚卸資産廃棄損	4,315	—
売上債権の増減額 (△は増加)	61,723	△39,949
棚卸資産の増減額 (△は増加)	71,940	97,207
仕入債務の増減額 (△は減少)	△159,733	△197,464
契約負債の増減額 (△は減少)	13,615	1,791
その他	△50,116	15,933
小計	416,426	561,740
利息及び配当金の受取額	14	17
利息の支払額	△4,635	△3,884
法人税等の支払額	△89,787	△125,320
法人税等の還付額	9,571	11,825
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,590	444,378
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△81,985	△14,043
無形固定資産の取得による支出	△6,172	△15,457
保険積立金の積立による支出	△5,605	△83,624
その他	△1,689	△1,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,453	△114,185
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△78,198	△73,422
リース債務の返済による支出	△8,780	△5,757
自己株式の取得による支出	△115,752	—
配当金の支払額	△43,485	△42,788
その他	—	105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46,216	△121,862
現金及び現金同等物に係る換算差額	737	△1,245
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	190,658	207,084
現金及び現金同等物の期首残高	1,478,978	1,661,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,669,637	1,868,384

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、菓子・パン資材および雑貨等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。